

大 脇 寺

(参考：新城文化財案内，野田郷1千年と大洞山)

薬師如来を本尊とした紫雲山大脇寺しうんざんに関する資料はきわめて少ないですが，近くには仁王門におうの跡も残っており，平安時代に繁栄していたことは確かです。中宇利の富賀寺に残る古文書に「庭野村紫雲山大脇寺坊中7か寺」と記録されています。

後の野田の戦い（1573年：元亀4）で武田軍のために焼かれたとの説がありますが，本尊の薬師如来だけが兵火をのがれ，現在に至ったものと思われます。

大脇寺へは，今の林光寺りんこうの前から向かいの丘に行く道が参道だったようです。それを行くと「仁王池におういけ」とか「仁王門跡」などと土地の人が言っている所があり，そこから薬師堂の向かいの山道ぼうがやに出ます。また，大脇寺の裏には「坊谷」「小坊寺」「貴照堂」などの地名があり，当時大きな伽藍がらんが建ち並んでいたものと推測されます。

大脇寺については，記録がほとんどないので確かめようがありませんが，伝承では大脇寺は，野田の戦いの際に焼失したとされています。大脇寺だけでなく，富賀寺も全焼しています。また，右のように今水寺はじめ他の寺や神社も多く焼かれており，貴重な記録や文化財が失われたようです。

大脇寺が武田信玄に焼かれたことが要因で，再興されることなく衰退していったとすれば，実に惜まれることです。しかし，鎌倉時代に入って新しい仏教（浄土宗，浄土真宗，臨済宗，曹洞宗日蓮宗等）が次々と普及し，真言密教が次第に勢力を失っていく時期だったことも背景にありました。

この地方で繁栄した真言宗の大寺院

- ① 鳳来寺 本尊 薬師如来 702年開山
僧坊 真言宗方：10 天台宗方：11
- ② 富賀寺 701年創建 行基
1338年 足利尊氏
堂舎9，僧坊18 建立
- ③ 大脇寺 本尊 薬師如来（重文）＝1171年
僧坊7 創建は不明
- ④ 今水寺 809年建立（鳳来寺山関係年譜）
僧坊12

信玄が焼き払ったとされる神社仏閣

今水寺 泉竜院 永住寺 建長寺 万福寺
永徳寺 徳願寺 能満寺
竹生神社 木舟神社 若宮八幡宮 野田八幡宮
河田八幡宮 国玉神社 須波神社 八幡宮
計16社 （野田郷の1千年と大洞山より）
これに富賀寺，大脇寺を含めると18社となる